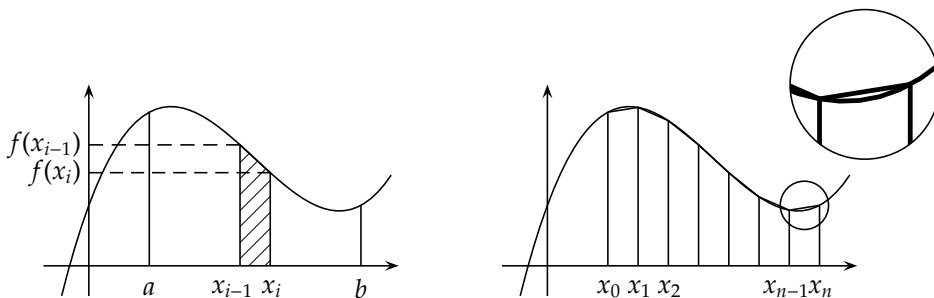


① 予備知識

関数 $f(x)$ を 1 次関数 (直線) で近似することで、不定積分 $\int_a^b f(x) dx$ の近似値を求める方法を台形公式と呼びます。積分区間 $[a, b]$ を n 等分

$$\Delta : a = x_0 < x_1 < \cdots < x_{n-1} < x_n = b, \quad x_i = a + \frac{i \cdot (b-a)}{n} \quad (0 \leq i \leq n) \quad (\spadesuit)$$

した場合の台形公式を導いてみましょう。



各小区間 $[x_{i-1}, x_i]$ において、4 点 $(x_{i-1}, 0)$ 、 $(x_i, 0)$ 、 $(x_i, f(x_i))$ 、 $(x_{i-1}, f(x_{i-1}))$ を頂点とする台形の面積は

$$\{(\text{上底}) + (\text{下底})\} \times (\text{高さ}) \div 2 = \{f(x_{i-1}) + f(x_i)\} \cdot (x_i - x_{i-1}) \cdot \frac{1}{2}$$

ですから、これらの総和 $S(n)$ は、各小区間の長さを $d = \frac{b-a}{n}$ とおくと、

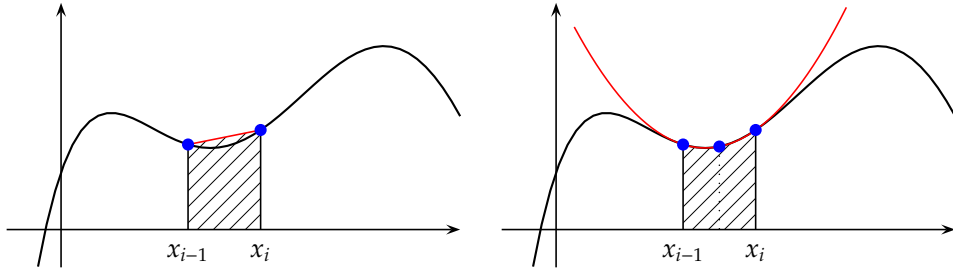
$$\begin{aligned} S(n) &= \sum_{i=1}^n \{f(x_{i-1}) + f(x_i)\} \cdot (x_i - x_{i-1}) \cdot \frac{1}{2} = \frac{d}{2} \sum_{i=1}^n \{f(x_{i-1}) + f(x_i)\} \\ &= \frac{d}{2} \left\{ f(a) + f(b) + 2 \sum_{i=1}^{n-1} f(x_i) \right\} = \frac{d}{2} \left\{ f(a) + f(b) + 2 \sum_{i=1}^{n-1} f(a + id) \right\} \end{aligned}$$

と表されます。この $S(n)$ による近似が台形公式です。

② 2 次関数による近似

台形公式は 1 次関数による近似でしたが、2 次関数 (放物線) による近似は (合成) Simpson の公式と呼ばれています。すなわち、区間分割 (\spadesuit) を考えるとき、各小区間 $[x_{i-1}, x_i]$ において、端点 $(x_{i-1}, f(x_{i-1}))$ 、 $(x_i, f(x_i))$ および中点の 3 点を通る 2 次曲線によって、曲線 $y = f(x)$ を近似する方法です。

次の図は、1 次関数 (左) と 2 次関数 (右) による近似の様子です。



Maxima を使って、Simpson の公式を導いてみたいと思います。まず、3 点

$$P_1(x_{i-1}, f(x_{i-1})), \quad P_2(x_i, f(x_i)), \quad P_3\left(\frac{x_{i-1} + x_i}{2}, f\left(\frac{x_{i-1} + x_i}{2}\right)\right)$$

を通る 2 次曲線 $y = ax^2 + bx + c$ を求めます。

```
(%i1) p[1]: [x[i-1], y[1]];
(%o1)          [x      , y ]
              i - 1  1
(%i2) p[2]: [(x[i-1] + x[i]) / 2, y[2]];
              x  + x
              i   i - 1
(%o2)          [-----, y ]
              2      2
(%i3) p[3]: [x[i], y[3]];
(%o3)          [x , y ]
              i   3
(%i4) g(x, y) := a*x^2 + b*x + c - y;
              2
(%o4)          g(x, y) := a x  + b x + c - y
(%i5) l: makelist(g(p[i][1], p[i][2]), i, 1, 3)$
(%i6) s: solve(l, [a, b, c])$
```

求める 2 次式を $g(x, y)$ と置き、あらかじめ用意しておいた 3 点 P_1, P_2, P_3 の座標^{*1}を代入し、係数 a, b, c を求めました。なお、式がやや複雑になるため、命令の末尾を $\$$ にして、結果を出力しないようにしました。

関数 $ax^2 + bx + c$ を積分し、係数 a, b, c を代入すれば、小区間 $[x_{i-1}, x_i]$ における近似面積が求められます。

^{*1} y 座標については特に重要な処理は行われませんから、適当に y_1, y_2, y_3 と置いています。

```
(%i7) integrate(g(x, 0), x, x[i - 1], x[i]);
          3      2      3      2
      2 a x  + 3 b x  + 6 c x  2 a x  + 3 b x  + 6 c x
          i      i      i      i - 1      i - 1      i - 1
(%o7)  -----
          6      6
(%i8) factor(subst(s, %));
          (y  + 4 y  + y ) (x  - x  )
          3      2      1      i      i - 1
(%o8)  -----
          6
```

各近似面積が

$$\int_{x_{i-1}}^{x_i} (ax^2 + bx + c) dx = \frac{x_i - x_{i-1}}{6} \left\{ f(x_{i-1}) + 4f\left(\frac{x_{i-1} + x_i}{2}\right) + f(x_i) \right\}$$

と求まりました。従って、近似面積の総和 $S(n)$ は、 $d = \frac{b-a}{n} = x_i - x_{i-1}$ とおくと、

$$\begin{aligned} S(n) &= \frac{d}{6} \sum_{i=1}^n \left\{ f(x_i) + f(x_{i-1}) + 4f\left(\frac{x_{i-1} + x_i}{2}\right) \right\} \\ &= \frac{d}{6} \left\{ f(a) + f(b) + 2 \sum_{i=1}^{n-1} f(x_i) + 4 \sum_{i=1}^n f\left(\frac{x_{i-1} + x_i}{2}\right) \right\} \\ &= \frac{d}{6} \left\{ f(a) + f(b) + 2 \sum_{i=1}^{n-1} f(a + id) + 4 \sum_{i=1}^n f\left(a - \frac{d}{2} + id\right) \right\} \end{aligned}$$

と表されます。これが Simpson の公式です。

$$\int_a^b f(x) dx \cong \frac{d}{6} \left\{ f(a) + f(b) + 2 \sum_{i=1}^{n-1} f(a + id) + 4 \sum_{i=1}^n f\left(a - \frac{d}{2} + id\right) \right\}$$